

育成会活動は、やれる人がやれる時に「楽しく」やれるだけをめざして



一般社団法人 栃木県手をつなぐ育成会 会長 小島 幸子
(一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会副会長)

いつも栃木県の育成会を応援していただきありがとうございます。

いよいよ新年度がスタートしました。昨年度から対面の講演会講師も少し増えてきましたが今年度はもっと増えて来ています。ご依頼も県内だけでなく北海道の育成会から九州の育成会まであります。皆さまとお会い出来ることを心から楽しみにしています

講演の内容ですが、障害者の虐待防止や権利擁護のことや強度行動障害と呼ばれる人を支援する方たちへ家族の気持ちを伝えることなどがあります。その他「母ちゃん奮闘記」や「すったもんだの暮らし」という息子との日々の生活についてもあります。さらに「育成会に若い会員を増やすためには」と育成会活動活性化についての大きなテーマもいただいています

栃木県育成会の会員は、昨年度は少ない減少で済みましたが、過去数年間をみると確実に下り坂になってしまっています。会員の減少、高齢化。若い会員が入って来ないのは栃木県だけでなく全国の育成会の課題になっています。働いているお母さんが多くなり、PTAや育成会活動に参加する余裕がないという声も多く届いています。また育成会の役員になると大変な負担になると考えている方も多いようです。障害のある人たちをまもるためのこの活動が、マイナスのイメージばかりでは悲しいです。育成会活動は、やれる人がやれる時に「楽しく」やれるだけをめざしていくといいのではないかなあと考えています

さて今年度は、いよいよ関東甲信越ブロック大会栃木県大会が宇都宮市の総合文化センターで11月18日土曜日に開催されます。昨年度より準備委員会を立ち上げて活動してきましたが、今年度は実行委員会と名称を変えて、先日第1回の集まりがありました。ブロック大会の詳細は、次回のご挨拶で取り上げたいと思います。委員会では、当日の会場設営、案内、誘導など具体的な内容に入り、熱心な議論があり委員の誰もが「栃木県大会を成功させよう！」という思いを感じて、とっとも頼もしく思いました。実行委員会が「誰にとっても楽しい時間」となるようにリーダーとして心配りをしたいと思っています。